0374－AB

ミストレーサ

取扱説明書・注意書

CRMシリーズ
CRMHシリーズ

CRHシリーズ

SDG

このたびは、ミストレーサをお買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書・注意書は**【CRMシリーズ・CRMHシリーズ・CRHシリーズ】**の仕様について説明しています。

本製品は工作機械等で加工された際に発生するミストを回収するものです。

ミストレーサを『**安全**』に『**効率よく**』ご使用いただくために、この取扱説明書・注意書**【特に⚠マーク部】**をよくお読みください。

この取扱説明書・注意書は、大切に保存してご活用ください。

【目　　次】

1．取扱説明書・注意書の見方について…… 1
2．図記号の意味について…… 1
3．ミストレーサを【安全】にご使用いただくために…… 1
4．納品時のご確認内容と保管について…… 3
5．内部構造と各部の名称…… 4
6．各種表示ラベルについて…… 7
7．設置環境条件について…… 8
8．吸引物質について…… 8
9．設置について…… 9
10．配管について…… 13
11．ご使用上の注意について…… 15
12．保守点検について…… 16
13．保証について…… 22
14．お問い合わせについて…… 23
15．廃棄について…… 23
16．仕様一覧…… 24

1．取扱説明書・注意書の見方について

本文中の【⚠**警告**】マークの部分は、取り扱いを誤ると【**死亡や重傷に結びつく事故**】【**火災発生**】の可能性があるものを示しています。
また、本文中の【⚠**注意**】マークの部分は、取り扱いを誤ると【**傷害に結びつく事故**】【**製品損傷**】に結びつくものを示しています。

2．図記号の意味について

禁止事項を表します。
（対象は不特定）

指示の通りにしてください。

取り扱いを誤ると事故につながる可能性があります。

分解禁止

必ずアース線を接続してください。

感電注意

高温注意

警告・指示項目は、必ず守ってください。

3．ミストレーサを【安全】にご使用いただくために

本製品は、工作機械等から発生するオイルミストを捕集し、快適な作業環境を確保するための商品です。本来の目的以外では使用しないでください。

⚠**警　告**　　**危険場所への設置厳禁**

ミストレーサは耐圧防爆構造品ではありません。CRH-□□Eシリーズは安全増防爆モータを搭載していますが、爆発性雰囲気が生成される可能性がある危険場所への設置は必ず法規制を順守し行ってください。

⚠警　告　　火災・爆発を避けるために

爆発性ガス　有機溶剤　火気　は絶対に吸引しないでください。
（CRH-□□Eシリーズは8ページ記載の範囲内でご使用ください。）

⚠警　告　　火災・感電事故を避けるために

ミストレーサの配線は、必ず電気工事の有資格者が
電気設備技術基準や内線規程に従い施工してください。

⚠警　告　　回転中の保守・点検禁止

フィルタの交換・点検は、電源停止から２分以上待ち、羽根車
の惰性による回転を停止させてから行ってください。

⚠注　意　　火傷の注意

運転中や停止直後は本体、本体内部には触れないでください。
【火傷】のおそれがあります。

⚠注　意　　製品を置き換える際のご注意

高効率モータ（IE3）は標準（IE1またはそれに準ずる）モータに
比べ、始動電流が大きくなる為、置き換えの際には、ブレーカ、
サーマルなどの変更が必要になる場合があります。

⚠注　意　　設置後の輸送について

装置などに固定して輸送される場合は、ロープ掛け等で本機を
確実に固定してください。故障または破損の原因となります。

⚠注　意　　本機の移動について

本機を移動させる際は端子箱、サイドカバ、エルボを持たない
でください。変形、破損の原因になります。吊りボルトを使用
して移動させてください。

4．納品時のご確認内容と製品の保管について

入念に検査・点検を行った上で出荷しておりますが、念のためお手元のミストレーサについて、次のことをご確認ください。

- ご注文どおりの製品ですか。
- 輸送中の**【破損・変形】**など異常はありませんか。
- 内容物、標準付属部品に欠品はありませんか。

標準付属品 ＼ 形式区分		CRM-S シリーズ	CRMH-S シリーズ	CRH シリーズ
ドレンチューブ	2本	○	○	○
ホースバンド（ドレンチューブ用）	2個	○	○	○
防振パッド	4個	○	○	○
ダクト相フランジ※	1個	○	○	○
パッキン（ダクト相フランジ用）※	1枚	○	○	○
圧着端子（1個予備）	7個	○	○	—

※ダクト相フランジは製品取付用に1個、相手側装置取付用に1個付属しています。
パッキン（ダクト相フランジ用）はダクト相フランジに貼付されている機種もあります。
機種、仕様により付属品の内容が異なる場合があります。

ミストレーサを保管される場合は下記の環境で保管してください。

- 屋内で直射日光の当たらない場所
- 温度0℃～40℃
- 湿度10%～90%（結露なきこと）

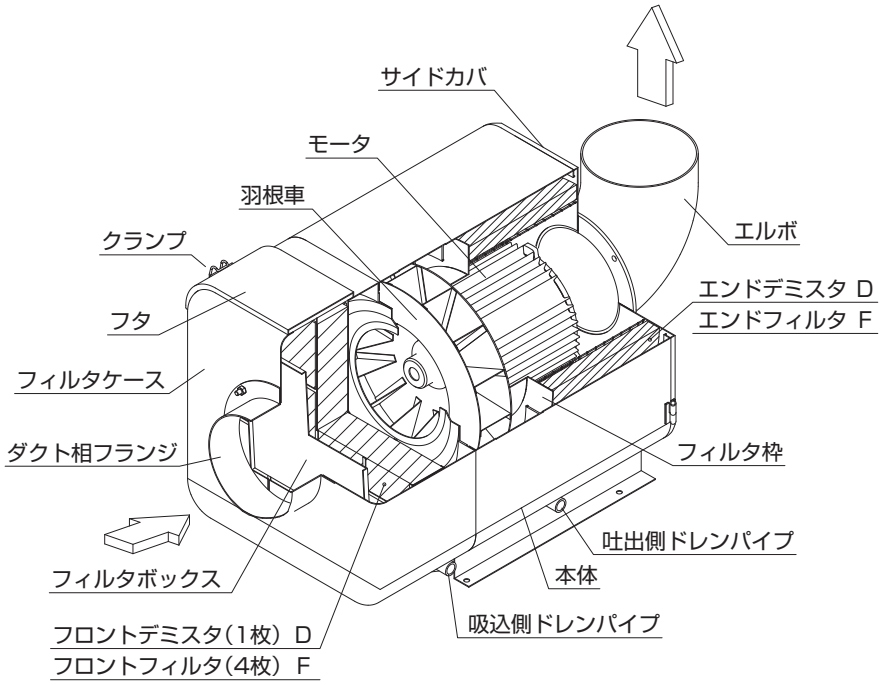
長期間（3カ月以上）保管・休止する場合は次のことにご注意ください。

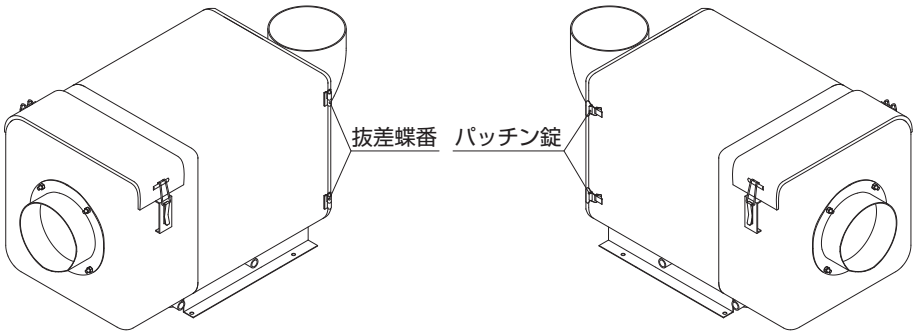
(1) 梱包した状態で保管の場合
屋内の温度変化の少ない、乾燥した場所で保管して下さい。

(2) 据え付けた状態で休止の場合
他の装置からの**【大きな振動】**や**【熱】**を受けないようにしてください。
水や油、ほこりなどからミストレーサを守るため、ビニールなどで覆っていただくことをおすすめします。

5．内部構造と各部の名称

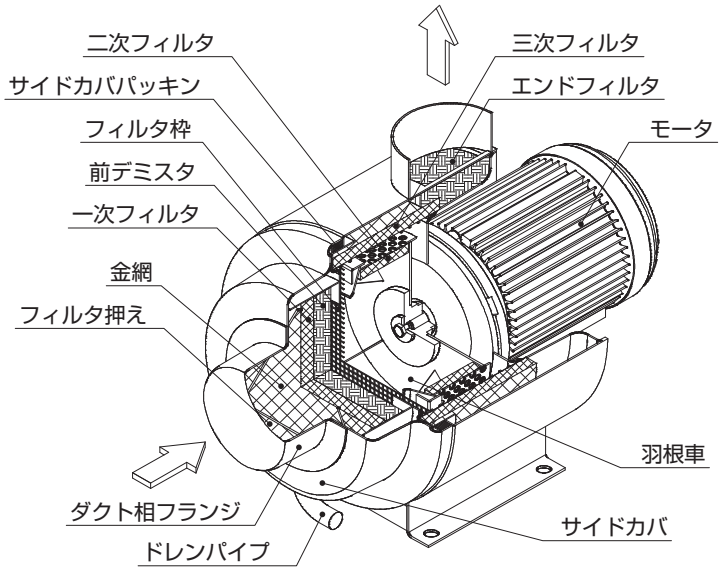
（1）CRMシリーズ、CRMHシリーズの内部構造と各部の名称



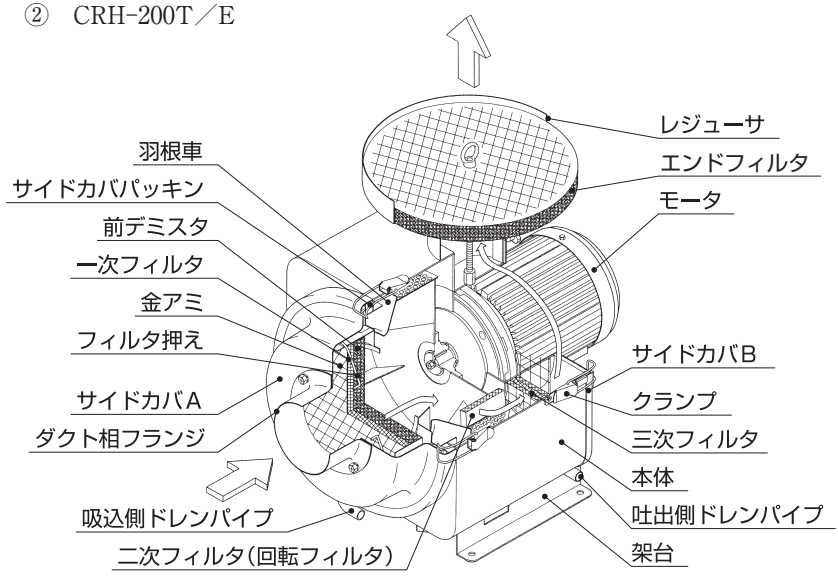


(2) CRHシリーズの内部構造と各部の名称

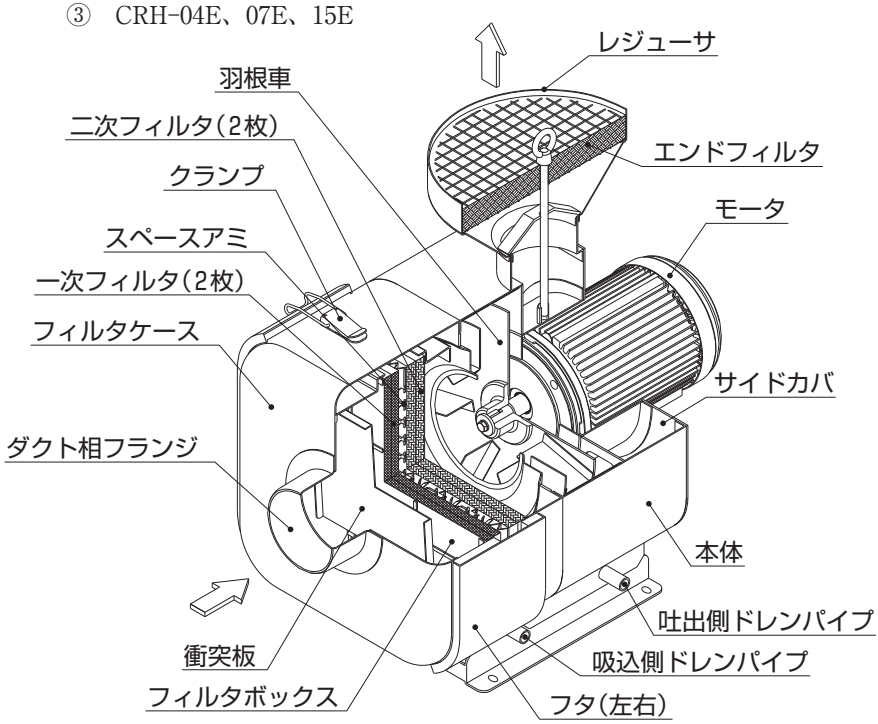
① CRH-100T／E



② CRH-200T／E



③　CRH-04E、07E、15E



6．各種表示ラベルについて

(1) 製品銘板(モータ銘板)……本体部又は架台部
製品形式・定格電圧・定格周波数・定格電流・絶縁クラス・最大静圧・最大風量・製造番号などの内容を表示しています。
注１：定格とは、使用限度を表します。
注２：静圧とは、気体の流れに対して平行な面に加わる力をいいます。

(2) 接地（アース）……端子箱内
マークで表示しています。この部分より必ずアース線を接続してください。

(3) 警告ラベル……フィルタケース(CRHシリーズ)
羽根車回転中、フタ又はカバの取り外し禁止の警告ラベル
電源停止後、すぐにフタ又はカバを開けると羽根車が惰性により回転しているため、**【指・手首】**を負傷する危険がありますので、電源停止後、**【2分以上】**お待ちください。

(4) 注意ラベル……サイドカバ(CRH、CRMHシリーズ)
火傷の恐れあり。運転中や運転直後は本体に触れないでください。

7．設置環境条件について

⚠注意　モータの焼損や部品の劣化などにつながります。
必ず、下記の範囲でご使用ください。

	CRMシリーズ	CRMHシリーズ CRHシリーズ
周囲温度	0℃～50℃	0℃～40℃
吸気温度	50℃以下	80℃以下
相対湿度	10%～90%	
高　度	1000m以下	
過電圧カテゴリ	Ⅲ	
材料グループ	Ⅲ	
汚染度	3	

- 屋内に設置してください。
- 製品質量を考慮して十分な設置面強度を確保してください。
- 強い振動や衝撃を受けないところに設置してください。
- 傾きのない水平な場所に設置してください。
- 爆発性雰囲気となる可能性のある場所への設置はできません。（CRH－□□Eは除く）

8．吸引物質について

⚠警告

爆発性ガス・有機溶剤・火花、火のついたタバコなどは絶対に吸引させないでください。爆発・火災・製品の損傷の原因となります。

なお、安全増防爆形のモータ付のCRH-□□Eシリーズをご使用いただくと、第４類危険物のうち第２石油類（灯油など）、第３石油類以上のミストも吸引が可能です。但し、ミスト温度は引火点以下としてください。

CRHシリーズは軸封にオイルシールを使用していますので潤滑のため必ずミストを吸引してください。（P15 **“ご使用上の注意について”**（5）をご参照ください）

※CRM、CRMHシリーズでも引火点が150℃以上の第３石油類につきましてはミストを吸引することは可能です。但し、吸気温度50℃以下（CRMHは80℃以下）となります。焼損防止端子A・B（白色のリード線）を必ず操作回路に使用し、安全対策を取ってください。

※吸引物質の種類や吸引量、ご使用状況によって、油漏れや塗装の剥離、パッキンやコーキング、フィルタなどの早期劣化が発生する場合があります。

9．設置について

(1) 設置方法

⚠注意

共通

・開梱時は天地を確認の上、開梱してください。
・製品を吊り上げる際は製品質量を確認し、定格荷重に合った吊り具をご使用ください。
・アイボルトにゆるみがないことを確認してください。
・吊り上げ用フックをアイボルトにかけて吊り上げてください。
・急激な吊り上げ、吊り下げ、発進、停止をして、製品に衝撃を与えないでください。
・製品設置後にアイボルトを使用して、設置機械と共に吊り上げないでください。

① CRMシリーズ、CRMHシリーズ、CRHシリーズ

a ドレンパイプからの排出・防振ゴムの質量配分のため、水平に設置してください。

b 機械および装置の上に設置する場合は、振動による移動を防止するため、ボルトで固定してください。

c 固定ボルトは、防振パッドの働きを活かすためのスキマをあけて固定してください。(図1をご参照ください)

d ドレン配管についてはP14⑶.ドレンチューブの配管をご参照ください。

e フィルタの交換など、保守、点検用のため、周囲には各方向500㎜程度のスペースを確保してください。

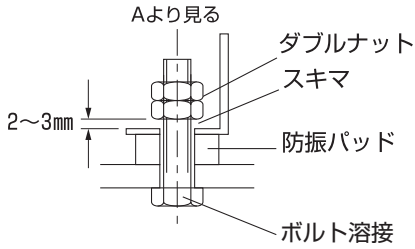


図１

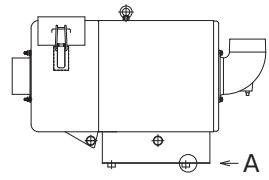


図２

(2) 電源接続

⚠警告

① 定格電圧・定格周波数でご使用ください。

- インバータを使用した運転は、モータ焼損防止端子A・Bをインバータ制御回路に組込む等、モータを保護すれば可能です。
  また、異電圧（380V以上）でインバータ運転される場合は、モータの絶縁強化（特別対応）が必要になります。
- 電圧変動の許容範囲
  連　続……定格電圧の±５％以内
  一時的……定格電圧の±10％以内

② 必ず**【アース線】**を接続してください。

③ モータの回転方向はCRH-04E、07E、15Eのみモータ側より見て右回転です。回転方向を確認した上で運転してください。それ以外の製品は右回転、左回転のいずれでも支障はありません。

④ CRMシリーズ・CRMHシリーズの端子台の端子A・B（白のリード線付）はモータの焼損防止用の端子です。使用方法は(3)を参照ください。

⑤ 電源ケーブルはキャブタイヤケーブルを使用してください。圧着端子を使用する場合には、圧着端子のカシメ部分に絶縁チューブをかぶせるか、絶縁タイプの圧着端子をご使用ください。

ねじサイズ	締付トルク
M3.5	0.87N・m（0.96N・m）

電源ケーブルの断面積とアース線の最小断面積

形　式	電源ケーブルの断面積	アース線の最小断面積
CRM-H02、CRH-100T/E、CRH-200T/E	AWG16（≒1.25㎟）	AWG16（≒1.25㎟）
CRM(H)-H04、CRH-04E	AWG16（≒1.25㎟）	AWG16（≒1.25㎟）
CRM(H)-H07、CRH-07E	AWG16（≒1.25㎟）	AWG16（≒1.25㎟）
CRM(H)-H15、CRH-15E	AWG14（≒2.0㎟）	AWG14（≒2.0㎟）
CRM(H)-H22	AWG14（≒2.0㎟）	AWG14（≒2.0㎟）

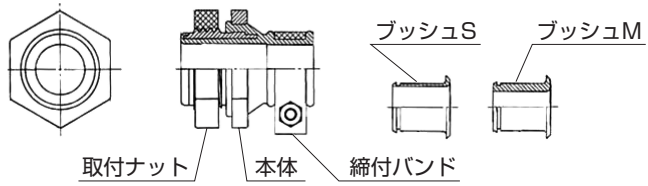
⑥ 電源配線を行う際には端子部に外力が作用しない様にケーブル引込口にコードロック等を用いてケーブルを固定してください。
コードロック付の場合は下記の手順で電源配線してください。
手順

1．付属のブッシュからコードに適合するサイズを選択する。

ブッシュ記号	適合コード径（mm）
S	6.0 ～ 8.0
M	8.0 ～ 10.0
なし	10.0 ～ 12.0

2．コードロックにコードを通す。

3．締付バンドを締めてコードを固定し、コードが固定されていることを確認する。



(3) 焼損防止用端子の使用方法

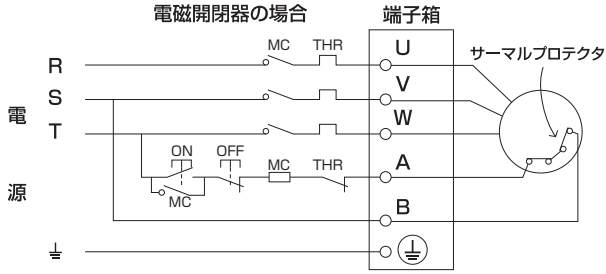
CRMシリーズ・CRMHシリーズには、モータの巻線に、熱反応式のサーマルプロテクタを取り付けています。(巻線温度が異常に上昇すると接点が開き、一定の温度まで下がると接点が閉じる自動復帰式です）このサーマルプロテクタにつながる端子が焼損防止用端子A、Bです。
この端子を電磁開閉器（サーマルリレー付)の操作回路に直列に接続することにより、モータ焼損を防止します。

⚠ 注意

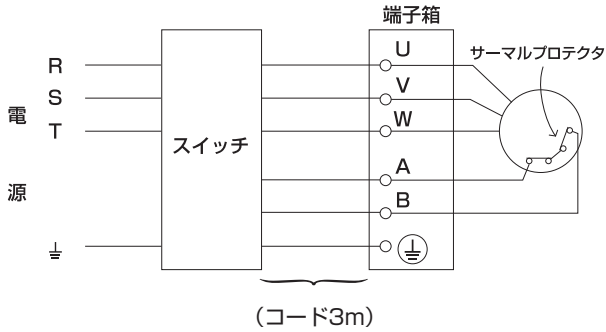
① A、B端子は必ず操作回路に使用し、モータを保護してください。
② 接点定格（AC115V 18A/AC230V 13A/DC24V 18A）以下でご使用ください。
③ サーマルリレーがトリップした場合は、その原因を取除き、リセットボタンを押してください。

④　ミストレーサを間欠運転する場合はサーマルリレーがミストリップする可能性があります。この場合、サーマルリレーの変更が必要です。

a　焼損防止用端子A、Bを用いての配線例
電磁開閉器（サーマルリレー付）をご用意ください。



b　別売のスイッチ（3SW、サーマル内蔵、コード3m付）を用いての配線例



⑤　サーマルリレーの整定電流は製品の銘板に記載されている定格電流を確認し、定格電流に設定してください。

10．配管について

(1) ダクトホースの材質について
ダクトホースの寿命は吸引するミストの種類により影響を受ける場合がありますので、耐油性ダクトホースをお勧めします。

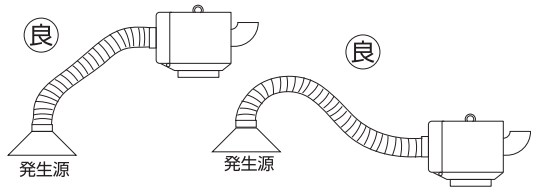
(2) 吸込ダクトの配管

① ダクトはメンテナンスが容易で、防振効果のあるフレキシブルダクト(オプション部品)をご使用ください。

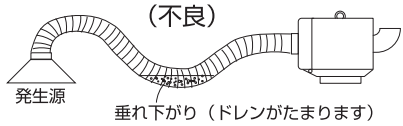
② ダクトの長さは余裕ある長さとし、かつ垂れ下がりがないように配管してください。

③ 相手側の接続を容易にするため、ダクト相フランジ（付属品）をご使用ください。

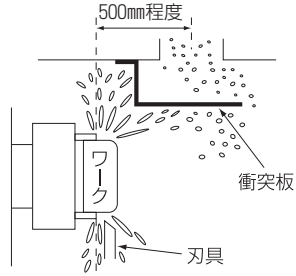
良い例



悪い例

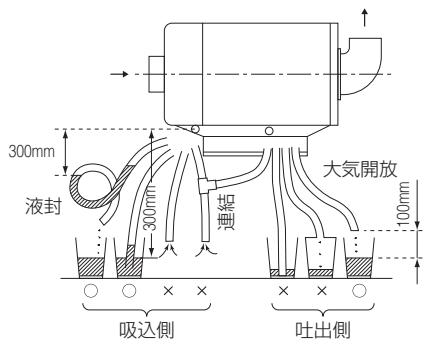


④ ミスト発生源の近くに吸込口があるとミスト、切粉、粉じんを多量に吸い込み、吹き漏れやフィルタ、デミスタの目詰まりの原因となる場合があります。発生源と吸込口との距離を十分にあけるか(500㎜程度)、衝突板の設置を推奨します。



(3) ドレンチューブの配管

① 吸込側は、必ず**【液封】**をしてご使用ください。(液封をしないとドレンチューブの先端より空気を吸い込みドレンが逆流して排出しなくなり、次のフィルタへ移動するため目詰まりや吹き漏れの原因となります。)



② 吸込側と吐出側のドレンチューブは連結しないでください。

③ 吐出側は、液面から100㎜程度離し、**【大気開放】**にしてください。またドレンチューブから吐き出されたエアー切削液が飛び散らないよう、ご注意ください。

④ ドレンチューブの配管をしていないドレンパイプはプラグなどで閉栓してください。

11．ご使用上の注意について

(1) 切粉や粉じんが多い場合、およびミストの濃度が高い場合はオプション部品の**【チップセパレータ】**をご使用ください。

(2) 油性（非水溶性）のミストを多量に吸引した場合、吹き漏れが発生することがあります。捕集効率を上げ、吹き漏れを軽減したい場合、以下の順番でご検討ください。

① フィルタ搭載タイプではないミストレーサをご使用の場合は、フィルタタイプへ組み替えてください。

② ①に加えオプション部品の**【汎用アフターフィルタ】**を取り付けてください。

③ ①、②に加えオプション部品の**【インナーフィルタ】**を取り付けてください。

(3) 粒子径が極めて小さい油煙などを吸引する場合、オプション部品の**【高性能アフターフィルタ】**をご使用ください。また、アフターフィルタの交換寿命を延ばす為には、オプション部品の**【インナーフィルタ】**をご使用ください。

(4) CRMシリーズ、CRMHシリーズでは、フィルタ(デミスタ）の目詰まりなどで閉そく状態（空気が流れない状態）にならないように注意してください。空気の流れにより、内蔵モータを冷却（空冷式）していますので閉そく状態になるとモータの冷却が悪くなりモータ焼損の原因となります。なお、CRHシリーズはモータが機外にあるため問題ありません。

(5) CRHシリーズでは、必ずミストを吸引してください。軸シールにオイルシールを使用していますので、ミスト(液体)がないとオイルシールと軸の接触部の潤滑と冷却が悪くなり発熱して寿命が短かくなり､早期の漏れの原因となります。なお、CRMシリーズ、CRMHシリーズはドライ状態でも使用できるVリングを使用していますので問題ありません。

(6) CRHシリーズ、CRMHシリーズで防錆剤などが入っていない水のミスト等を吸引する場合は、錆発生防止（内部）のため数分間空運転をして内部を乾燥させてください。

12．保守点検について

(1) 定期点検

①３ヶ月を目安に、振動・異常音発生の有無、１年毎に絶縁を点検していただくことをおすすめします。

②軸封部にゴム製の接触シール(Ｖリング、オイルシール等)を使用しているものは回転摩耗による劣化、吸込・吐出口部、サイドカバなどに使用しているパッキン類については経年劣化が発生します。

劣化状況は使用環境によって異なりますが軸受交換時(１年を目安)に軸封やパッキン類の交換をおすすめします。

③モータの軸受は、密閉形ボールベアリングを使用していますので、軸受へのグリースの補給・給油の必要はありません。

グリース寿命は使用環境によって大きく変化しますが、１年を目安としてください。

(2) フィルタ・デミスタの点検・交換の目安

① CRMシリーズ、CRMHシリーズ

型　式	フィルタの種類	材　　質	数	点検・交換の目安	洗浄の可　否
D	フロントデミスタ	アルミニウム	1	12～24カ月	可
	エンドデミスタ	アルミニウム	1	24～36カ月	可
F	フロントフィルタ	ポリエステル	4	１～６カ月	可
	エンドフィルタ	ポリエステル	1	６～12カ月	否

② CRHシリーズ

フィルタの種類	材　　質	数	点検・交換の目安	洗浄の可　否
一次フィルタ	ポリエステル	※	１～６カ月	可
二次フィルタ	ポリエステル	※	１～６カ月	可
三次フィルタ	ポリエステル	※	６～12カ月	可
エンドフィルタ	ポリウレタン※	1	６～12カ月	可

※CRH-100T/E：一次フィルタ１枚、二次フィルタ４枚、三次フィルタ１枚
CRH-200T/E：一次フィルタ１枚、二次フィルタ５枚、三次フィルタ１枚
CRH-04E､07E､15E：一次フィルタ２枚、二次フィルタ２枚、三次フィルタ：無
CRH-100T/E：エンドフィルタの材質はステンレス

⚠注意

フィルタ・デミスタの点検を行う際は**【ゴム手袋など】**をつけてケガを防止してください。

本機をメンテナンスする場合は本取扱説明書を読み構造を熟知し、メンテナンスの訓練を受けた方が行ってください。

(3) フィルタ・デミスタの点検・交換・組み換え要領

作業に入る前に必ず**【電源スイッチを切る】**又は**【切れている】**ことを確認してください。また電源スイッチに**【作業中・スイッチ入れるな】**等のカードを取り付けて作業を行なってください。

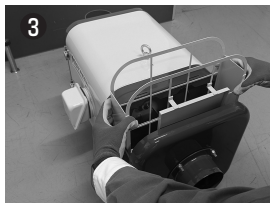
①CRMシリーズ、CRMHシリーズ

a フロントフィルタ、フロントデミスタの点検、交換、組み換え

（フロントフィルタの写真を記載していますがフロントデミスタも手順は同じです。）

クランプを外して、フタを取り外します。

フロントフィルタ（フロントデミスタ）を取り出します。

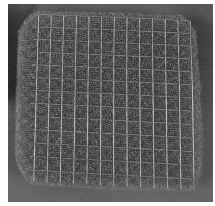


※切粉を吸い込んでいる場合

フィルタボックスを取り外し、ボックス内の切粉を取り除いてください。

フロントフィルタ

フロントデミスタ

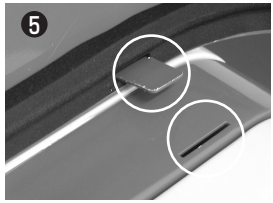


点検、取り外し後

フロントフィルタ(4枚)：向きを合わせて(短い辺を縦に)、「ミストレーサ純正品」とスタンプがある方を下流側(風下側)にして、4枚まとめて挿入します。

フロントデミスタ(1枚)：向きを合わせて(短い辺を縦に、裏表は無)挿入します。

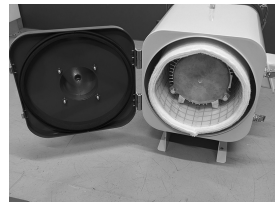
【注意】



フタを取り付ける際、フタのガイドをガイド穴に差し込んで取り付けてください。正しく取り付けていない場合、油が漏れる原因となる可能性があります。

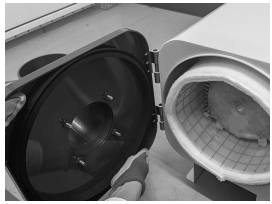
フィルタケースにフタを固定するときは、写真のようにクランプのアーム部をフタと一緒に片手で押さえながら、レバーを倒して固定してください。(※アーム部が深くかかっていることをご確認ください。)

b **エンドフィルタ、エンドデミスタの点検、交換、組み換え**
（エンドフィルタの写真を記載していますがエンドデミスタも手順は同じです。）



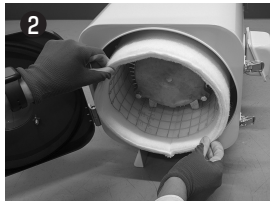
パッチン錠を外し、サイドカバを開くとエンドフィルタ（エンドデミスタ）が現れます。

【注意】パッチン錠を外した際にサイドカバが勢いよく開きますので注意してください。

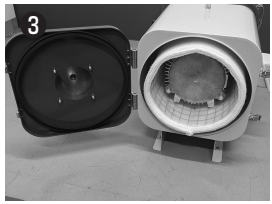


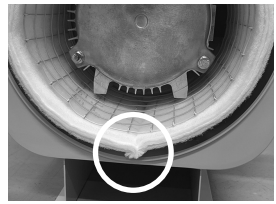
サイドカバの開閉には抜差蝶番を使用しています。
スペースがなくサイドカバを開けられない場合は、サイドカバを少し開いた状態で上に引き抜いてください。

【注意】引き抜いた後、再度取り付ける際には指を挟まないように注意してください。



エンドフィルタ（エンドデミスタ）を引き抜きます。





点検、取り外し後

エンドフィルタ（エンドデミスタ）をフィルタ枠に挿入し、サイドカバを閉じてパッチン錠でサイドカバを固定します。（エンドフィルタ挿入時は、継ぎ目を下側にしてセットします。）

【注意】

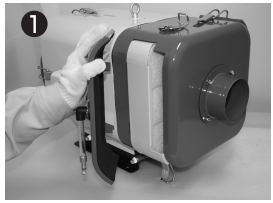
・エンドフィルタ（エンドデミスタ）は奥まで挿入してください。
・エンドフィルタ（エンドデミスタ）がサイドカバに挟まらないよう注意してください。油漏れの原因になります。
・サイドカバを閉める際に指を挟まないよう注意してください。

②CRHシリーズ

（CRH-100、200T/Eは交換方法が異なります。お問い合わせください。）

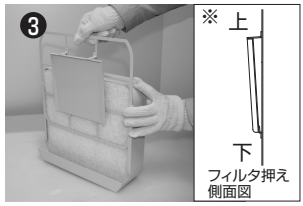
一次、二次フィルタの交換

（洗浄後、再利用ができます）



クランプをはずして、フタを取り外します。

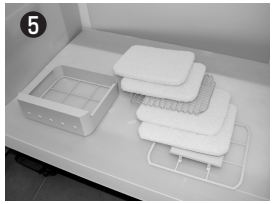
フィルタボックスをスライドさせて、取り出します。



フィルタ押えを取り外します。

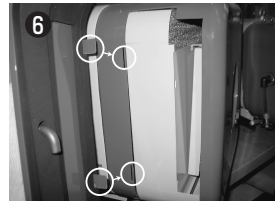
※フィルタ交換後、フィルタ押えの取り付けの向きに注意してください。

一次フィルタ（薄いもの）、スペースアミ、二次フィルタ（厚いもの）の順に取り外します。



交換の場合は、二次フィルタ、スペースアミ、一次フィルタの順にセットします。一次フィルタ（2枚）、二次フィルタ（2枚）は、「ミストレーサ純正品」とスタンプがある方を下流側（風下側）にして、1枚づつ取り付けてください。（一度に入れるとかたよる可能性があります。）

【注意】



フィルタ交換が完了し、フタを取り付ける際、必ずガイドをガイド穴に差し込んで取り付けてください。正しく取り付けていない場合、油が漏れる原因となる可能性があります。

エンドフィルタの交換
（洗浄後、再利用ができます）

アイナットを外してください。

エンドフィルタを取り出し、交換します。

⚠ 注意

フィルタは弊社純正部品をご使用ください。フィルタを取り外しての運転は行わないでください。（故障や不具合の原因になります。）

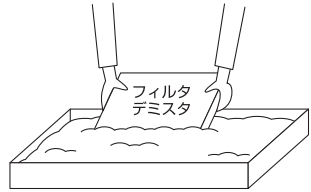
(4) その他のメンテナンスについて

ＣＲＨ－□□Ｅシリーズは安全増防爆形のモータを使用していますので、フィルタ交換以外のメンテナンスにつきましては、お問い合わせください。（P23をご参照ください）

(5) フィルタ・デミスタの洗浄方法

①洗浄方法

洗浄可能なフィルタ、デミスタはエアブローまたは浸け置き洗浄（中性洗剤）で汚れ等を落としてください。



②廃棄方法

洗浄後の廃水や廃棄になるフィルタは各市町村の条例等に従って廃水・廃棄を行ってください。

13．保証について

(1) 保証の範囲

取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。

ただし、本製品がお客様の装置に組み込まれている場合において、その装置等からの取り外しおよび装置等への取り付け、その他これらに付帯する工事費用、輸送等に要する費用ならびにお客様に生じた機会損失、操業損失その他の間接的な損害については保証範囲外となります。

(2) 保証期間

製品納入の日から１年間といたします。

(3) 保証期間内であっても次の場合には原則として有料修理とさせていただきます。

①取扱説明書・注意書に記載以外の誤った使用による故障及び損傷

②弊社以外での不当な修理や改造（製品への穴あけなどを含む）による故障及び損傷

③お買上後の輸送、落下等による故障及び損傷

④火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）等による故障及び損傷

⑤弊社指定品以外の部品をご使用の場合の故障及び損傷

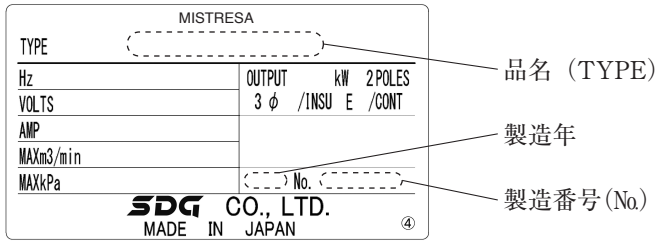
⑥異物混入による故障及び損傷

⑦経年変化または使用に伴う変色、傷、消耗部品の自然消耗等の不具合

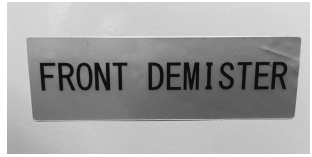
(4) 本製品のご使用中に発生した不具合に起因する損害は補償いたしません。

14．お問い合わせについて

本製品に関するお問い合わせは、最寄りの営業拠点迄ご連絡ください。
不具合又は修理などのご依頼の際には、銘板に記載してある品名(TYPE)と製造年、製造番号(No.)をご連絡ください。



※CRMシリーズ、CRMHシリーズをご使用のお客様で、納入後にお客様で内部構成の組み換えを行っている場合は、組み換え時に貼り付けしている銘板をもとに組み換え内容を合わせてご連絡ください。（下記銘板参照）



※営業拠点の最新情報は、弊社ホームページよりご確認ください。
営業拠点紹介

15．廃棄について

製品を廃棄する場合は法令及び規制に従ってください。

16．仕様一覧

CRMシリーズ

形　　式	CRM-H02□	CRM-H04□	CRM-H07□	CRM-H15□	CRM-H22□
電　源	三相　50Hz　200V　60Hz　200V ／ 220V				
出　力　kW	0.2	0.4	0.75	1.5	2.2
周波数　Hz	50/60	50/60	50/60	50/60	50/60
電　流　A	1.6/1.3/1.3	2.0/2.0/2.0	3.0/3.3/3.3	6.9/7.0/7.0	10.2/10.4/10.4
騒　音 機側１m dB(A)	F：57/62 D：64/67	F：63/67 D：68/72	F：69/76 D：73/78	F：74/77 D：81/83	F：76/79 D：83/86
質　量　kg	27	33	43	67	78

CRMHシリーズ

形　　式	CRMH-H04□	CRMH-H07□	CRMH-H15□	CRMH-H22□
電　源	三相　50Hz　200V　60Hz　200V ／ 220V			
出　力　kW	0.4	0.75	1.5	2.2
周波数　Hz	50/60	50/60	50/60	50/60
電　流　A	2.0/2.0/2.0	3.0/3.3/3.3	6.9/7.0/7.0	10.2/10.4/10.4
騒　音 機側１m dB(A)	F：63/67 D：68/72	F：69/76 D：73/78	F：74/77 D：81/83	F：76/79 D：83/86
質　量　kg	33	43	67	78

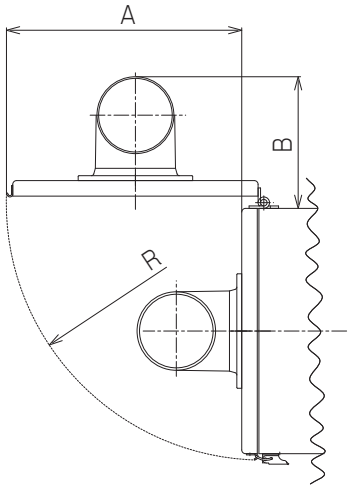
CRHシリーズ（※CRH-100E、200E、04E、07E、15EはCE対応はできません。）

形　　式	CRH-100T/E	CRH-200T/E	CRH-04E	CRH-07E	CRH-15E
電　源	三相　50Hz　200V ／ 60Hz　200V ／ 60Hz　220V				
出　力　kW	0.2	0.2	0.4	0.75	1.5
周波数　Hz	50/60	50/60	50/60	50/60	50/60
電　流　A	1.2/1.1/1.0	1.2/1.1/1.0	2.0/1.8/1.7	3.3/3.1/2.8	6.2/5.8/5.4
質　量　kg	13	20	26	37	57

T：非防爆形モータ仕様　　E：安全増防爆形モータ仕様

※上記電圧以外の仕様は納入仕様書をご確認ください。

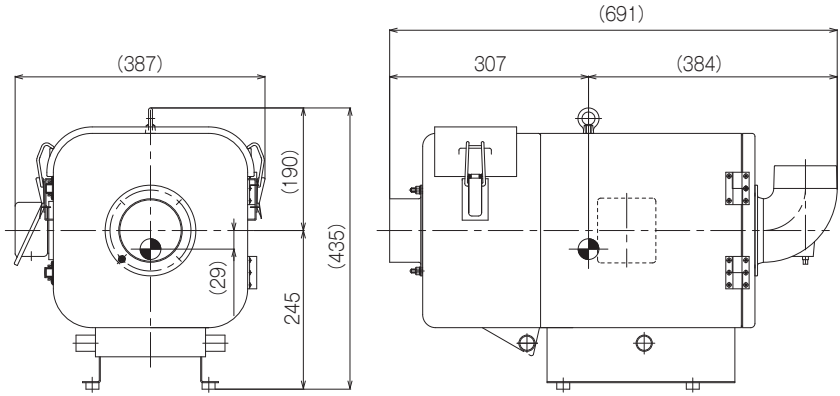
CRMシリーズ、CRMHシリーズのサイドカバ開閉範囲



単位(㎜)

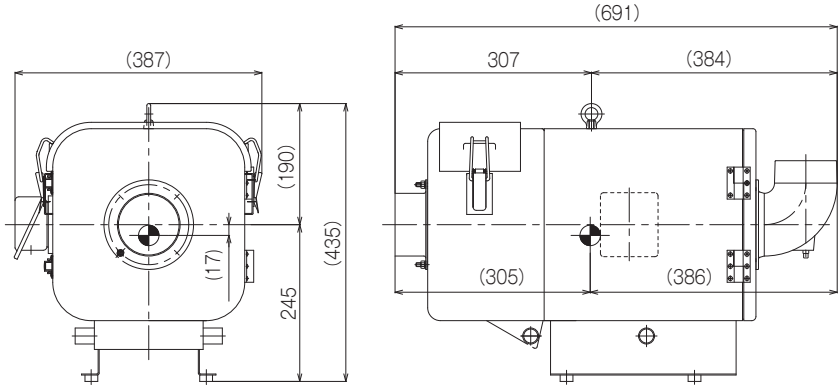
	A	B	R
CRM(H)-H02□ H04□	288	161	315
CRM(H)-H07□	338	189	365
CRM(H)-H15□	408	216	435
CRM(H)-H22□	448	276	475

① CRM-H02□

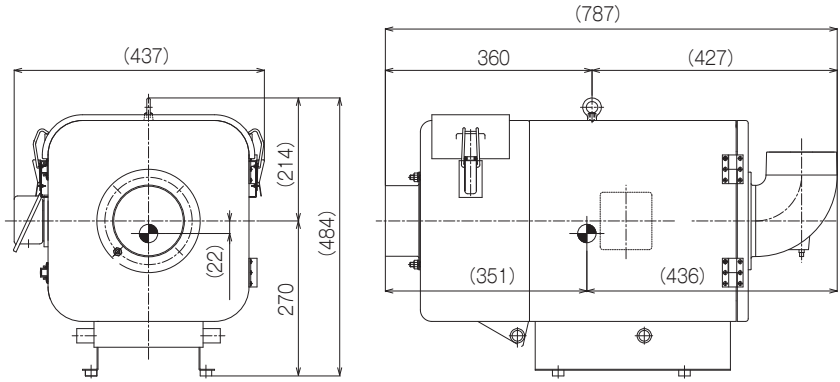


⊕：重心位置（CENTROID POSITION）

② CRM-H04□、CRMH-H04□

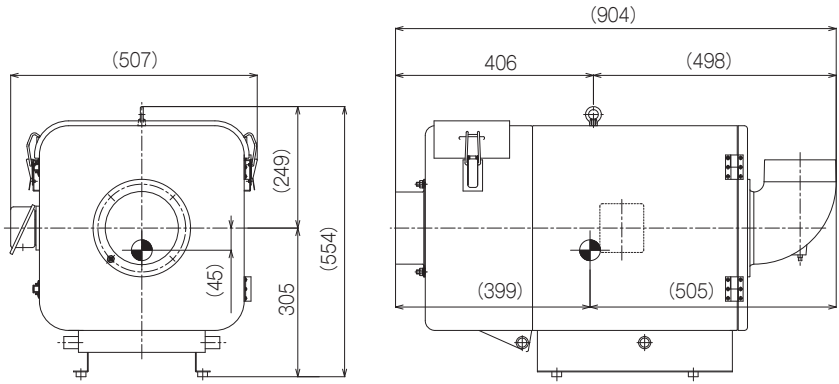


③ CRM-H07□、CRMH-H07□

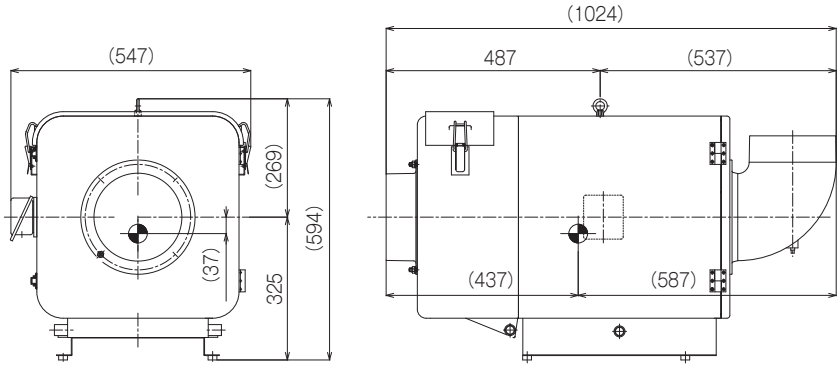


：重心位置（CENTROID POSITION）

④ CRM-H15□、CRMH-H15□

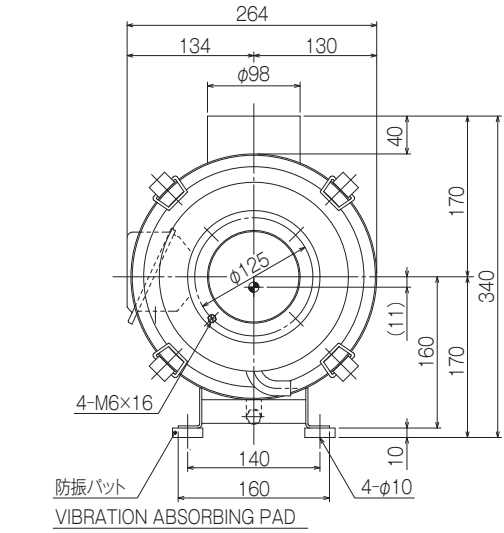


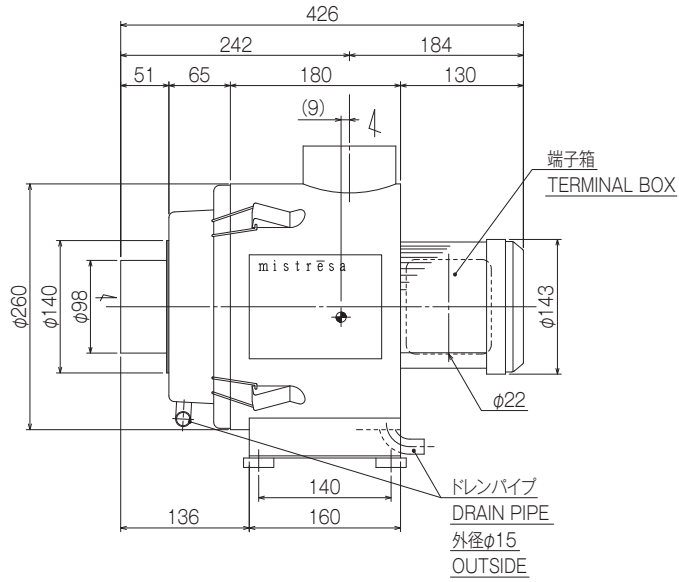
⑤ CRM-H22□、CRMH-H22□



⊕：重心位置（CENTROID POSITION）

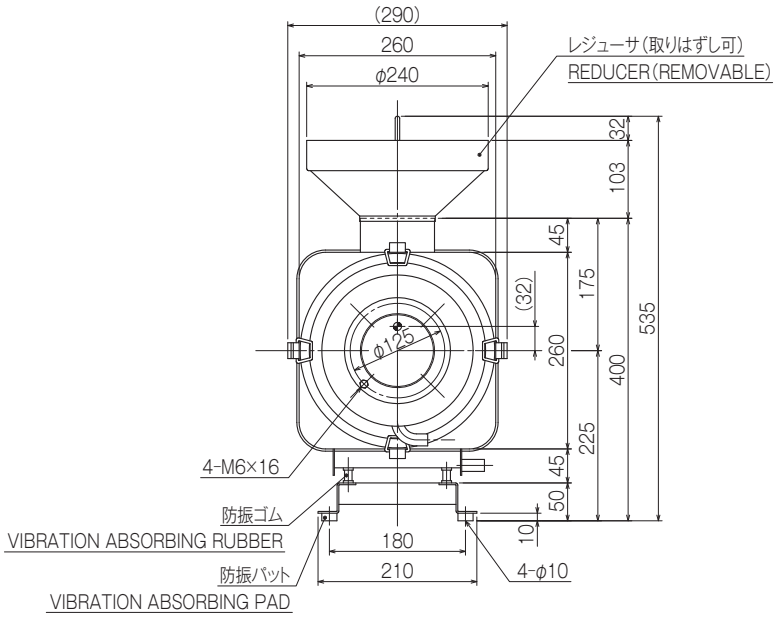
⑥ CRH-100T

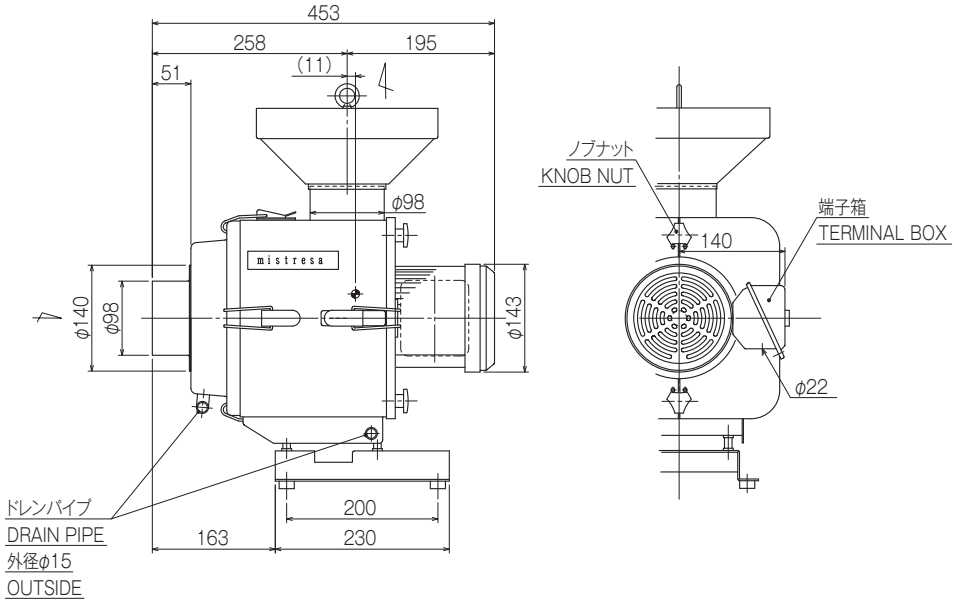




⊕：重心位置（CENTROID POSITION）

⑦ CRH-200T





✣：重心位置（CENTROID POSITION）

SDG株式会社

https://www.sdg-eng.com

VEGETABLE OIL INK

環境に優しい植物油インキを
使用して印刷しております。